

沿革と特色

広島大学は、11 研究科、11 学部、1 特別専攻科を有し、教員数約 1,700 人、学生数（大学院生含む）約 16,000 人を擁する国立大学です。教育学講座は、広島大学教育学部（教育学研究科）に設置されています。

広島大学教育学部教育学講座は、広島文理科大学教育学科教育学教室を母体とし、広島高等師範学校の教育学担当教官を包摂して 1949（昭和 24）年に発足した全国屈指の教育学の教育研究組織です。1989（平成元）年に、東広島市へ移転し、2009（平成 21）年には、教育学部と学校教育部の改組・統合が行われ、現在の教育学講座へと至っています。

教育学講座は、教育哲学、日本東洋教育史、西洋教育史、教育社会学、教育方法学、社会教育学、教育行財政学、比較国際教育学、教育経営学、幼児教育学といった研究領域を包摂し、18 名の教員のもと、教育諸科学の体系的知識を提供し、教育に関する高い識見と総合的な判断力をもつ専門的人材を育成することを目的として活動しています。

卒業・修了後の生き方

研究者への道

大学教員として教育の研究や教員養成に携わる
（大学、研究機関など）

教員への道

教員として子どもの学びと育ちを支える
（小学校・中学校・高等学校、幼稚園、保育園など）

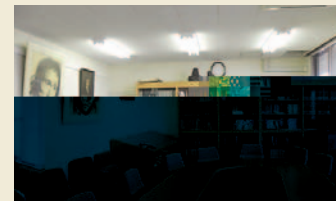
公務員への道

公務員として教育改革や福祉の最前線で活躍する
（教育委員会、児童福祉施設、家庭裁判所、少年院など）

市民リーダーへの道

市民リーダーとして国際社会や企業で活躍する
（一般企業、国際協力機関など）

	2015(平成 27)年度着任予定	



お問い合わせ

〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号
広島大学大学院教育学研究科 教育学講座

TEL : 082 - 424 - 6758（事務室）

FAX : 082 - 424 - 5254

H P : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/kyo2/>

広大 教育 第五類

検索

第五類教育学系コース 大学院教育学専攻

学部から大学院までの一貫したカリキュラムによって「教育」を追求し、研究者、教員、公務員、市民リーダーとなるあなたの夢を実現します。



HIROSHIMA UNIVERSITY

2014(平成26)年度版

学士課程教育

教育学プログラムの概要

本プログラムは、教育諸科学の体系的知識を提供し、教育に関する高い識見と総合的な判断力をもつ専門的人材の育成をめざします。

本プログラムは、学生が教育に関するさまざまな理論や思想、事象、課題について、哲学的・歴史的・社会的・国際比較の視野に立って学習し研究するとともに、教育方法・技術や教育課程、学校経営、教育行財政、社会教育・生涯学習をめぐる具体的問題群についての理論的・実践的検討を行うように構成されています。

プログラム履修後は、より高度な学的探求を行うため大学院へ進学するほか、教職、教育行政職（公務員）、教育分野での国際的な開発協力実践家など、教育科学の専門性を活かせる各種分野で活躍することが期待されます。

教育学プログラムの構造

教養教育

教養ゼミ（1年前期）

専門教育

①

教育関連諸科学の基礎的知識の理解・習得
【専門基礎科目】（1年次～） 講義形式
教育哲学、日本東洋教育史、西洋教育史、教育社会学、
教育方法学、社会教育学、教育行政学、
比較教育学、教育経営学

②

教育学の
研究手法の獲得
【研究法】（2年次～） 演習形式
教育学外書講読演習、
教育学研究法演習、
教育調査統計法演習、等

③

教育に関する資料・
情報・データの収集力と
具体的な教育課題に対す
る分析力・判断力の獲得
【領域基礎演習】
（2年次～） 演習形式
比較教育学演習
教育行政学演習
日本東洋教育史演習 等

教育学総合演習 A
ゼミの選択

教育学総合演習 B
卒業論文構想発表会

【領域課題演習】
（3年次） ゼミ形式
課題演習

④

教育に関する研究開発能力、
問題解決・改善能力、政策立案能力の獲得
【卒業研究】（4年次） ゼミ形式

大学院教育

博士課程前期：教育学専攻（マスターコース）

学部教育より1ランク上のさらなるスペシャリストを目指します。教育研究者、教員、公務員、市民リーダーとしての実践的な力に磨きをかけるとともに、各領域で反省的实践家としての問題解決能力を高めるための研究する力、探求する力を身に付けます。そのために、教育の理念・思想、歴史、方法、内容、経営、政策、制度などの観点、あるいは社会学、国際比較の視点から、教育に関するさまざまな事象や課題について高度な教育・研究を行います。

博士課程後期：教育人間科学専攻（ドクターコース）

教育の研究者として先端的な研究を推進し、3年間の研究活動を通して「博士」の学位取得を目指します。また、教職課程担当教員養成プログラムにより、「先生の先生」となるための実践的な指導が行われます。修了後は大学の教員をはじめとした、教育の研究者を目指します。

在籍学生・院生の出身地